

# 平成30年度 江戸川区体育功労者

この賞は、江戸川区の体育振興に著しく貢献した方々を表彰するもので、これまでに、253名の方々が受賞しています。

今年度は6名の方が受賞し、4月7日(日)、江戸川区スポーツセンターにて表彰式が行われました。(順不同・敬称略)



田邊 正  
軟式野球連盟



渡部 一晴  
山岳連盟



那須 庄助  
ソフトテニス連盟



忍田 佳夫  
柔道会



榊原 登志男  
剣道連盟



岸 義彦  
空手道連盟

## 編集後記

東京2020大会も開催まで1年を切り、会場の準備はいよいよ佳境を迎えております。7月に江戸川区が会場となるカヌー・スラロームセンターが完成して、無事お披露目されました。これを踏まえ、今回の特集で大きくご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか？

観戦チケットも抽選が行われており、こうして会場も完成し

てくると、少しずつ実感が湧いてくるものなんだと感じています。

「スポーツの秋」とも言われています。この機会にスポーツを楽しんではいかがでしょうか。きっと、東京2020大会をより身近に感じることができるでしょう。

小松川地区 尾形和昭



# みんなのスポーツ Sports Vol.105

第105号 令和元年9月19日 編集：江戸川区スポーツ推進委員会 発行：江戸川区 江戸川区中央 1-4-1 ☎(5662)1636

会長あいさつ

## いよいよやって来る 2020オリンピック・パラリンピック



江戸川区スポーツ推進委員会  
会長 安部 純一

私たち江戸川区スポーツ推進委員は、皆さんが住んでいる各地区委員会から推薦された委員と、江戸川区から推薦された教職員で構成されています。これまで、地域に密着した各種イベントやスポーツ大会への参加をはじめ、区民の方々にスポーツに親しんでいただくためのスポーツ講座やスポーツ教室などを開催してまいりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決まり、江戸川区ではカヌー・スラローム競技が行われます。開催にあたっては、カヌーの普及・啓発はもちろんのこと、将来の「カヌーのまち・えどがわ区」の実現のため、区のカヌー協会とタイアップして、カヌーの各種イベントへの協力体制も新たに構築してきました。カヌーにも実際に乗り、その操縦性の難しさを体験しつつ、思い通りにカヌーを動かせることの嬉しさも体感し、これからも区民の方々と一緒に、カヌー競技を楽しんでいきたいと考えています。

また、障害者スポーツの祭典であるパラリンピックについては、区のスポーツ振興課にご協力いただき、スポーツ推進委員全員が、初級障害者スポーツ指導員資格の取得を進めています。ポッチャを始めとして、車いすバスケットボール、シッティングバレーボール、ブラインドサッカーなど、障害者スポーツについて研鑽を積むべく、講習会に参加しています。また、スポーツ推進委員会の定例会に講師の方をお迎えして、各種目の体験とルールの習得にも励んでいます。

パラリンピックにおける障害者スポーツの普及だけでなく、パラリンピック後も区民の方々と共に、障害者スポーツの普及発展に、尽力していきたいと考えています。

区民まつりや区民運動会などの各種イベントはもちろんのこと、カヌーや障害者スポーツのイベントにおいても、青いジャージを身につけた私たちスポーツ推進委員を見かけたら、お気軽にお声がけください。



# ボッチャ Boccia

## ボッチャ講座

### ボッチャの豆知識

- ボッチャとは、イタリア語の“ボール(Bocce)”のこと。
- 古代ギリシャの玉投げに由来し、6世紀にイタリアで競技として開発。20世紀に入り、脳性麻痺など比較的重い障害のある人が参加できるように考案。
- 今では全世界40以上の国と地域に普及。
- パラリンピックの正式種目(個人戦・ペア戦・団体戦 / 男女の区別なし)。

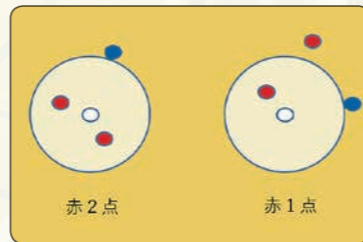


### ボッチャのルール

- 革製の持ち球(赤ボール・青ボール/6個ずつ)を、白色の目標球(ジャックボール)に近づける競技。
- 障害の内容や程度により4つにクラス分け(BC1~4)。
- ボールを手で投げるのが難しい選手は…
  - 足で蹴ることができる。
  - ランプという滑り台のような勾配具を使用して投球することができる。
  - リリーサーという補助具を頭や口に装着して投球することができる。
  - 競技アシスタントのサポートを受けることができる。

### ボッチャの勝敗

- 全投球が終わった時点でジャックボールに最も近い色に得点が与えられる。
- 相手よりもジャックボールに近いボール1個につき1点が加算される。
- 試合終了時点で高い得点をあげた方が勝ちとなる。



### ボッチャの魅力

- 6球に込められた、高い集中力と繊細な投球。
- たった一度の投球が、試合の流れを左右する。
- 数多くの戦略、そして相手との駆け引き。
- スリリングな試合の展開に、誰もが目を離せない。

## ～はじめてのボッチャ講座～

スポーツ講座を行うには、地域スポーツ推進員の皆さんの協力が不可欠です。今回、鹿骨地区で初めてボッチャ講座を開くにあたり、まず、地域スポーツ推進員の皆さんとボッチャに対する知識や理解を深めるとともに、実施に向けた共通認識を図るため、普段の講座の時よりも早く集合し、説明書をもとに、コート作りから始めました。コート作りは想像以上に時間がかかってしまいましたが、その分、説明書を読む時間がとれ、ルールなどの理解を深めることができました。

講座が始まると、参加者の皆さんとルールの確認をしながらゲームを開始しました。一つ一つのルールを確認しながらできたことが、かえって、ボッチャを理解するには良かったのかとも思いました。参加人数は少なかったのですが、従事者とのペア戦やチーム戦などを行いました。

全てのボールを投げ終わってから、ジャックボールの側に選手に集ってもらい、ボールの位置をお互いに確認しあうと、遠くから見ているのと違って驚いたり、次はどこから狙おうかと話したりして楽しんでい

ました。最初は上手く講座の進行ができるか心配でしたが、子どもたちには応用力もあり、スムーズに進行することができました。講座終了時には子どもたちから、「簡単なゲームだけれども、自分の投じたボールを相手のボールに当てて動かすことでゲームの流れを変えることができ、思っていた以上に楽しかった。」と言われ、その言葉が私たち従事者にとってなよりの労いでした。今後も、参加者に楽しんでもらえるような講座を開いていきたいと思ひます。

鹿骨地区 肥田 初枝

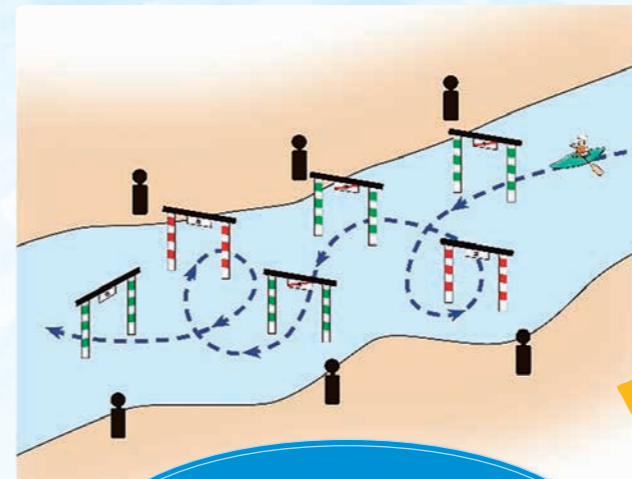
# カヌー・スラロームセンター

# 完成

葛西臨海公園の隣接地に国内初の人工スラロームコースを備えた「カヌー・スラロームセンター」が完成しました。東京2020オリンピックで会場として使われた後は、国内外の大会の会場だけでなく、水上レジャー施設などとして幅広い利用が予定されています。

## 競技コース

(長さ約200m、幅約10m、勾配約2%)



青色の部分は障害ブロックになっており、競技に欠かせないうねりや渦が生み出されます。



## スタートプール

選手がスタートのタイミングを待つ場所。ウォーミングアップが終わると選手はボートコンペアに乗って、スタートプールまで上がってきます。



## ウォーミングアップコース

競技前のウォーミングアップに使われる約180mのコース。



## フィニッシュプール

競技コースの激流を静水に抑えるエリア。

